

新潟県長岡市

中心市街地活性化基本計画概要

【4期計画：令和7年4月～令和12年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

みんなが創るまちなかの価値
～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～
日本初「イノベーション地区」のさらなる展開

【自治体の概要】 人口：256,731人(R6.4.1・住民基本台帳)、面積：891.05㎦
・本市は、新潟県のほぼ中央、大河信濃川に沿って開かれた広大な新潟平野の南端に位置する中越地方の中核都市である。
・本市の中心市街地は、江戸時代はじめの長岡城の築城とともに形成された場所であり、平成30年に長岡開府から400年を迎え、古くから城下町として発展してきた。

【中心市街地の課題等】

- 1) **チャレンジする人の個性や可能性を引き出す環境を創る**
まちなかに企業進出の動きが見えつつあることや、産学連携拠点「NaDeC BASE」が入居する「米百俵プレイス ミライエ長岡」のフルオープンにより、イノベーション創出の機運が高まることが想定される。これらを捉え、個性や可能性を引き出せるような、チャレンジできる場・空間が必要。
- 2) **多様化するニーズへの対応と、活躍する場所の確保**
働き方の多様化と暮らし方の変化等により、居住者のニーズが変化。市民は中心市街地に「多様な人が活躍できる場」を求めていることから、多様化するニーズに対応し、誰もが活躍できて、働きたいと思える環境が必要。
- 3) **魅力の向上により回遊性を高める**
歩行者通行量は長岡駅周辺やアオーレ長岡に集中し、波及効果が限定的。一方で「米百俵プレイス ミライエ長岡」の先行オープンにより、賑わいが拡がりつつある。にぎわいの核と、周辺で広がる新たなまちづくりの芽を育て、まち全体の魅力を高め、回遊の拡がりを創っていくことが必要。

【計画目標と数値】

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値
①「起業する人」を増やす	①中心市街地内の起業数(件/5年)	29 (R1～R5)	29 (R7～R11)	36 (R7～R11)
	②中心市街地内の居住人口(人)	5,567 (R6.3)	5,447 (R12.3)	5,585 (R12.3)
②「集う人」を増やす	③中心市街地内の公共施設利用者数(万人/年)	143.3 (R5)	143.3 (R11)	196.3 (R11)
	(参考指標) うち大手通交差点より西側(万人/年)	48.5 (R5)	48.5 (R11)	74.9 (R11)
③「歩く人」を増やす	④大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量(平日)(人/日)	17,854 (R5)	18,122 (R11)	18,820 (R11)
(共通)	(参考指標) 中心市街地で活動や交流することが増えた市民の割合(%)	20.6 (R5)	20.6 (R10)	24.2 (R10)

【計画のテーマ】 まちを「つくる」、「つかう」、「つなぐ」、そして「ひろげる」

【中心市街地活性化の方針】

基本方針1 チャレンジする人を支え、新たな活動を「ひろげる」

長岡版イノベーションの拠点であるミライエ長岡の「NaDeC BASE」において「NaDeC推進事業」などを展開し、多様な人が集い、未来を担う若者たちの個性や未来への可能性を引き出し、若手起業家をはじめチャレンジする人を支援するとともに、起業の促進や中心市街地の場の力を活用したイノベーション地区の展開を図り、市内全体に効果を波及させる。

→目標指標：まちで「起業する人」【起業数(件/5年)】

基本方針2 多様な人が集い、交流の輪を「ひろげる」

「まちなか建物更新等支援事業」、「まちなか居住区域定住促進事業」、「サテライトオフィス誘致事業」、「市民センター検討事業」等により、住む場所、働く場所、活動する場所など居場所となる環境を確保するとともに、多様な分野で活躍できる場を提供することで、誰にとっても快適で居心地がよいまちを実現する。

→目標指標：まちに「集う人」【居住人口(人)】【公共施設利用者数(万人/年)】

基本方針3 魅力にあふれ、にぎわいを「ひろげる」

賑わいの核となる「米百俵プレイス ミライエ長岡」のフルオープンのほか「明治公園」や「戦災資料館」の整備により、人を惹き付けるまちの魅力を創出する。また、まちなかで生まれた新たなまちづくりの芽を育て、魅力を高めることで、人の流れをまち全体に拡げる。

→目標指標：まちを「歩く人」【歩行者・自転車通行量(平日)(人/日)】

【前期計画目標と数値】

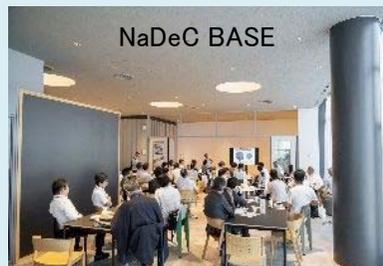
目標	目標指標	基準値	目標値
「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量(平日)(人/日)	24,409人/日 (H30)	26,652人/日 (R6)
「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数(件/5年)	25件/5年 (H26～H29の累計)	40件/5年 (R1～R6の累計)
「集う若者」を増やす	中心市街地内の30代以下居住人口(人)	1,656人 (H30.3)	1,724人 (R7.3)
	【参考指標】 学生限定のバスサービス利用者数(人)	78,881人/年 (H29)	80,419人/年 (R6)

長岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

チャレンジする人を支え、新たな活動を「ひろげる」

①「NaDeC推進事業」

- ・米百俵プレイス ミライエ長岡において、起業家や学生などの活動拠点となる環境を整備し、産学官金が連携して共同研究や起業支援を実施する。
- ・R5年度に先行オープンしたミライエ長岡において、イノベーションサロン、イノベーションラボ、ものづくりラボ、起業相談等を行うNaDeC BASEを運営する。R8年の東館完成後は、入居予定の市商工部や商工会議所と連携し、機能を強化することで、起業数の増加を図る。



②「学生起業家育成事業」

- ・NaDeC BASEをメイン会場に、産学官金の関係団体と力を合わせ、学生等の起業創業のサポートを行う事業を実施する。
- ・長岡で起業を考えている学生等に対し、起業に必要な経費を補助する。長岡市の経済発展に寄与する見込みがある事業や特に大学等における学習又は研究成果を生かした事業を支援することで、起業数の増加を図る。

魅力にあふれ、にぎわいを「ひろげる」

⑤「大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業」

- ・市街地再開発事業により、人づくりと産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点施設を整備する。
- ・R5年度には、マンション、銀行、図書館、駐車場等が完成した。残る東館については、R8年中の完成を目指して、現在整備を進めている。

- ・米百俵プレイスのフルオープンにより、更に吸引力を高め、賑わいの創出・拡大を図る。



中心市街地面積：約96ha

中心市街地人口：5,567人(R6.3)



多様な人が集い、交流の輪を「ひろげる」

③まちなか建物更新等支援事業

- ・老朽建築物や空き地の共同化による市街地環境の整備・改善を行う事業者に対して事業費の一部を支援することで、まちなかの居住人口の増加を図る。

④まちなか居住区域定住促進事業

- ・まちなかへの転入・転居者が住宅を購入等して居住する場合、固定資産税を免除することで、まちなかの居住人口の増加を図る。

⑥「ミライエクリエイティブキッズプログラム実施事業」

- ・市内民間団体及び高等教育機関等と連携して人材育成に資するプログラムを実施する。
- ・R5年度に先行オープンしたミライエ長岡において、ミラクリという通称で小学生向けの創造力を育むワークショップを実施する。

- ・R8年の東館完成後は、中高生向けのティーンズラボを運営し、更なる賑わいの創出・拡大を図る。

